

循環型教育システムによる看護師育成プランについて

先月号では、プラン全体の概要をご紹介させていただきました。今月号からは、各プロジェクトの紹介をしていきます。今月は《一人前看護師育成プロジェクト》です。

看護学科4年生から看護師3年目への継続的な看護実践能力の習得プログラム（一人前看護師育成プログラム）の開発を行っています。

このプログラムは「看護実践能力」「組織的役割遂行」「教育・研究」というクリニカルラダーと同様の構造で成り立っています。府立医大附属病院看護師としての一人前像、到達目標をもとに、学習内容、教育方法を立案したうえで、段階的、統合的なプログラムにするための調整を行い、教育プログラムを組み立っています。また、基礎知識・技術は集合研修（Off-JT）、部署で独自に必要な知識・技術はOJTとし、それに基づき自己学習ができることを基盤とした、自己学習ツールの開発やOff-JTとOJTが連動するよう検討を行っています。さらに、臨床実践能力の評価のひとつである客観的臨床能力試験（OSCE）を取り入れ、看護実践能力の段階的・総合的な評価を行います。

H22年度は、薬剤治療、医療機器、集中ケア、救急看護、複数ケア・夜勤適応、情報活用、倫理、研究等の集合研修やOSCEを企画・運営しています。

シミュレーション動画の配信が始まりました

急変対応や人工呼吸器のセッティングは、日頃からトレーニングしておきたい技術です。それらのシミュレーション動画が、電子カルテ用のパソコンから閲覧できるようになりました。Ub!Pointの「教育ビデオ」フォルダからお入りください。順次配信予定です。

現在、配信済みの動画は以下の通りです。自己学習のツールとしてどうぞ活用ください。

1. 急変対応外来編
2. 急変対応病棟編
3. 気管チューブの固定方法
4. 人工呼吸器のセッティング方法
5. 閉鎖式吸引

ベーシックレベルⅡの研修がありました



気管挿管介助の演習場面

7月29日にベーシックレベルⅡの研修（情報活用、救急看護、複数ケア・夜勤適応のプログラム）を行いました。

「情報活用」は、システム情報委員より看護記録・看護診断についての講義を受け、提示された事例の看護過程をNANDA・NIC・NOCの本を活用して展開しました。

「救急看護」は、救急看護認定看護師よりACLSの講義を受け、除細動の使用法・気管挿管の介助の演習を行いました。急変時のシミュレーション学習を行い、チーム内の一員としての役割を学びました。

「複数ケア・夜勤適応」は、重症患者を受け持ち、救急患者を受け入れる状況と言うシミュレーション学習を通して、優先順位を考えた行動やチーム内コミュニケーションについてグループワークを行いました。

お知らせ

来月より“OSCE”を実施します。
※ 日勤勤務中、1時間程度OSCEを受けていただきます。

ベーシックレベルⅠ→9月22日（水）

ベーシックレベルⅡ→10月7日（水）

ベーシックレベルⅢ→11月1日（月）

臨床心理士による
カウンセリング実施中です。
毎週水曜日 13:00~17:00
相談受付中（要予約）

9月の研修です。
ベーシックレベルⅢ
→9月30日（木）

※内容・問い合わせについては

看護実践キャリア開発センターまで